

令和6年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	3	学 校 名	稲取高等学校	記 載 者	尾上 弘介
------	---	-------	--------	-------	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載） 評価：A～D

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評 価	意見
ア	高い志を持ち、日々努力する姿勢を育むとともに、志望に応じた進路実現を図る。	「進路や将来の生き方についての考えが深まった」と答える生徒 90%	B	B	・ガイダンスや進路だよりを通じて、生徒の進路に対する意識が向上していることが認められる。加えて、生徒と保護者の進路に関するコミュニケーションを円滑にするための指導を行うことも検討してはどうか。 ・保護者と生徒の考えを把握した上での進路指導は非常に重要であり、今後も継続してほしい。 ・保護者アンケートの結果を見ると、「4 生徒一人一人を伸ばし育てる教育」および「6 進路指導の情報提供」に関する評価がやや低い点が気にかかる。これらの評価向上に向けた取り組みを検討する必要がある。
イ	基礎学力の定着を図るとともに、ICTを活用する等、個別最適な学びの研究・実践をする。	「先生の授業がわかりやすい」と答える生徒 90%	A	A	・授業の研究が進められていることが認められる。生徒一人ひとりへの指導にも対応されていると思うが、より効果的な指導方法の研究をさらに深めてほしい。 ・少人数指導は高い効果が見られる。今後も生徒の理解力や学習意欲の向上を目指して取り組んでほしい。 ・校内見学を通じて生徒の態度や学習姿勢を観察しても、分かりやすい授業が実践されていることが確認できた。
ウ	豊かな人間性と人権意識の育成を図り、生徒が主体的・協働的に行動する教育活動を実践する。	「学校に居場所がある」と答える生徒 90%	B	B	・生徒アンケートの「学校に居場所がある」という項目で高い結果が得られたことは、大いに評価したい。孤立傾向の生徒へのサポートが行われていることも、学校全体の良好な雰囲気が影響していると考えられる。 ・インターネットやスマートフォンの普及により、対面でのコミュニケーションが減少している現状を踏まえ、生徒同士の対話を促す指導を行ってほしい。
エ	基本的な生活習慣を確立し、規範意識を醸成するとともに、たくましい心身を育成する。	「基本的な生活習慣が改善された」と答える生徒 90%	B	B	・基本的な生活習慣は、生徒の家庭環境とも関連があると考えられる。それぞれの生徒の状況に応じた適切な指導を行ってほしい。 ・生活習慣は、学生時代だけでなく、社会に出た後も重要な要素となる。まずは、毎日登校することを大切にしてほしい。

様式第5号

オ	生徒の安全意識の向上を図るとともに、安全・安心な教育環境を整備する。	防災講座で防災意識が高まった生徒 80%	A	A	・防災意識の高まりや、それに取り組む姿勢を高く評価する。 ・通学路の確認を行うこと自体が防災学習の一環となる。災害時には自らの命を守る行動が何より重要であることを、しっかりと意識してほしい。 ・能登の状況を踏まえ、改めて防災意識を高め、より慎重に対応してほしい。
		「学校の施設設備は管理が行き届いている」と答える生徒 70%	B	B	・建物の老朽化は避けられないものの、安全面に十分配慮し、教育に支障が出ないよう対応を進めてほしい。 ・「学校が古いこと」と「安全ではないこと」は別問題であることを、生徒や保護者に正しく伝えてほしい。 ・建物の老朽化は見られるものの、清掃が行き届いており、好印象を受けた。
カ	地域との連携を推進するとともに、地域・家庭への積極的な情報発信を図る。	「本校では地域との連携が積極的に行われている」と答える生徒・保護者 90%	B	A	・地域との連携が活発であることを高く評価する。 ・地域とのつながりを通じて、生徒自身の活躍の場が広がることの重要性を意識してほしい。 ・ボランティア部の地域活動を高く評価する。
		「情報発信を積極的に行っている」と答える保護者 80%	A	A	・発信方法については、さらなる検討をお願いしたい。 ・保護者だけでなく、地域にも積極的に情報を発信してほしい。 ・稲取高校の様子は伊豆新聞以外からは伝わりにくいため、「稲高だより」を回覧板に入れるなどの対応を検討してはどうか。
キ	勤務時間管理に対する教員の意識を高め、効率的な学校運営を目指す。	長時間勤務者の削減と健康管理の徹底	C	B	・教職員には楽しく仕事をしてもらいたい。その上で、仕事への意欲と業務改善・働き方改革が相反するものにならないよう、バランスを取った取り組みを進めてほしい。 ・教員アンケートおよび保護者アンケートの結果が高評価であったことを評価する。